

本学を志望される皆さんへ

麻疹（はしか）等の集団感染予防のための入学前予防接種について
（協力依頼）

麻疹の流行は、例年、冬から春で、4月から6月にピークを迎えます。

麻疹の予防にはワクチン接種が有効であり、予防接種法に基づき2006年から小学校入学前までに計2回の定期接種が開始されましたが、それまでは1回の接種しかされておらず、今春の入学生も抗体価の低い人が多いと予想しています。

麻疹は非常に感染力が強く、予防接種未接種者や1回しか受けていない人は、麻疹に対する免疫力が不十分であると言われており、特に、若青年期集団の抗体保有率は低く、感染するリスクが極めて高い状態にあります。

本学では、医学科、看護学科ともに、病院等における実習を受ける必要があることから、入学直後に4種（麻疹、風疹、ムンプス、水痘）抗体検査を行い、陰性の学生に対して自費でのワクチン接種を義務づけています。

国では、成人の麻疹等の流行対策として、2008年4月から5年間の期限（2013年3月まで）で第3期（中学1年生相当年齢）、第4期（高校3年生相当年齢）を対象に、麻疹・風疹ワクチンの予防接種を「定期接種」として無料で受けることができます。一般に麻疹の予防接種を受けるには1万円程度の費用がかかりますが、第4期に該当する場合は、住んでいる市町村が費用を負担してくれますので、市町村の保健予防担当課へ確認してください。大学入学後は、「任意接種」となるため、有料になります。

市町村によっては、時期を定めて実施していることから、無料接種ができない場合もありますが、自分自身を麻疹等の感染から守り、学生間における集団感染や感染拡大を未然に防止するため、入学するすべての学生の皆さんに、入学前に麻疹の予防接種を完了し、安心して健康的なキャンパスライフを過ごせるよう、ご協力をお願いします。

なお、麻疹・風疹混合ワクチン（MR混合ワクチン）の接種をお勧めします。

2011年1月

医学部長 喜多 英二